

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

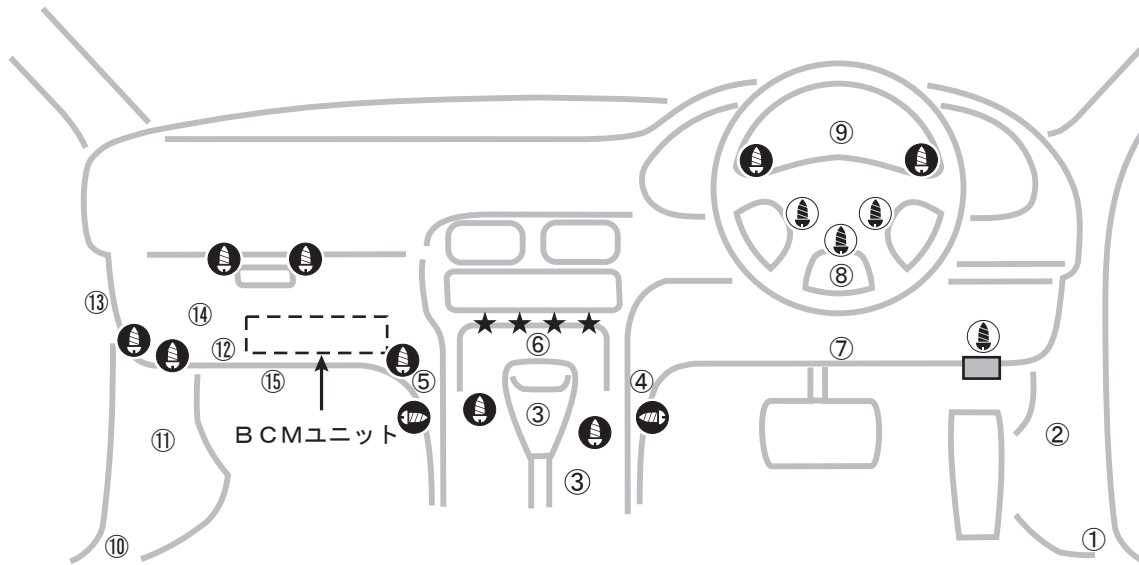
BOX No. 142804

車両情報	マツダ プレマシー	平成25年1月～	CW系	1 / 3 ページ	ES-89 Light	Type	N.L.
	日産 ラフェスタ ハイウェイスター	平成25年3月～	CW系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EP070)

Ⓛ イモビライザー無し車のみ

## ◎カバー類の取り外しは、必ずこのページの手順のとおりに行ってください。

Ⓛ 各配線の取り付けについては、2 / 3 ~ 3 / 3 ページをご覧ください。



### Ⓛ カバー類の取り外し方 (助手席側)

※以下は、助手席側BCMユニット内のカブラに、CN2配線を行う場合のみ外す。

- Ⓛ ⑩左サイドステップカバー…ツメに注意して上側に引っ張る。
- Ⓛ ⑪左足元サイドカバー…ファスナ1個外して、手前に引っ張る。
- Ⓛ ⑫グローブボックスリッド (フタ)  
…リッド部2箇所を上から押して外し、ダンパーを横に外してから手前に引いて外す。
- Ⓛ ⑬左サイドパネル…左側に引っ張って外す。(クリップ5箇所、フック2箇所)
- Ⓛ ⑭グローブボックス…ネジは、上側に2本、下側に3本  
ネジを外してから、全体を手前に引っ張り、クリップ5箇所を外す。
- Ⓛ ⑮アンダーカバーを取り外す。

止めネジ等



### Ⓛ 専用ハーネス (VM111A) のケーブルの引き出し方向について

※キーシリンダーに割込接続する、専用ハーネスのカブラ (レバー付きのカブラ) からの引き出し方向は、取り付けする車両のキーシリンダ周辺の配線の引き回しに合わせて、必要により配線処理のしやすい方向に変更することが出来ます。手順は、以下の通りです。

- Ⓛ ①専用ハーネスのカブラ (ハーネス側) の黒色のプロテクトカバーを外す。  
…プロテクトカバーは、上下 (各2箇所) にあるツメを、細かめのマイナスドライバー等で外せば、簡単に外れます。
- Ⓛ ②ケーブル引き出し方向を変更後、プロテクトカバーを元通りに取り付けする。  
…カバー上下 (各2箇所) のツメが、カブラ側に確実にロックして固定された (外れない) ことを確認してください。

### Ⓛ カバー類の取り外し方 (運転席+センター付近)

※以下の部品を順番に外す。

- Ⓛ ①右サイドステップカバー…ツメに注意して上側に引っ張る。
- Ⓛ ②右サイドカバー…ファスナ1個外して、手前に引っ張る。
- Ⓛ ③シフトノブと周囲のパネル…シフトノブを回して外し、シフトレバー周辺のパネルを上側に引っ張って外す。(クリップ4箇所)
- Ⓛ ④右サイドウォールカバー…右側に引っ張る。
- Ⓛ ⑤左サイドウォールカバー…左側に引っ張る。
- Ⓛ ⑥フロントコンソール  
下側2本、左右に各1本のネジを外し、手前側に引っ張って外す。  
正面上側のクリップ4箇所を外す際は、カバーが細かくなっているので、注意して外すこと。(図の★印部分)
- Ⓛ ⑦ロアカバー…ボンネットフードレバー上側のツメを、マイナスドライバーで、外してからレバーを手前に引いて外す。レバーを外してからネジ1本を外して、ロアカバーを手前に引っ張って外す。
- Ⓛ ⑧上側コラムカバー…上方向に引っ張りカバーを外す。(フック6箇所、ピン4箇所)  
下側コラムカバー…キーシリンダのノブが付いている車は、先にノブの両端をつまんで外す。ネジ3本を外し、下側のコラムカバーを外す。
- Ⓛ ⑨メーター…ネジ2本を外し、メーターを手前に引っ張り出し、コネクタを切り離し、メーターを外す。

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⒺ表示です。

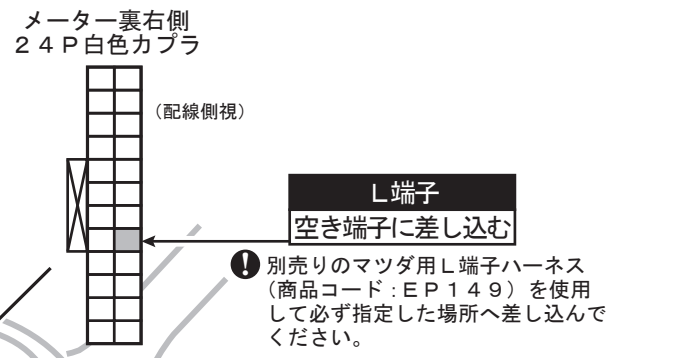
BOX No. 142804

車両情報	マツダ プレマシー	平成25年1月～	CW系	2 / 3 ページ	ES-89 Light	Type	N.L.
	日産 ラフェスタ ハイウェイスター	平成25年3月～	CW系			Opt.	ドアロックリレーNⅢ(EP070)

❗ イモビライザー無し車のみ

**❗ 注意事項 (L端子接続について)**  
 ※L端子を接続する場合は、別売りのマツダ用L端子ハーネス (商品コード:EP149) を使用して必ず、指定した場所へ差し込んでください。

**❗ L端子接続方法**  
 ①白色24Pカブラのリテーナー (カブラの下側についている) ロックを、マイナスドライバーを使って解除します。(少し浮かせます)  
 ②マツダ用L端子ハーネスを端子の向きに注意して差し込みます。  
 ③白色24Pカブラのリテーナー (カブラの下についている) を、指で押さえて確実にロックさせます。  
 ④片方の配線は、受信機CN2ハーネスからのL端子 (茶色) 配線に接続してください。

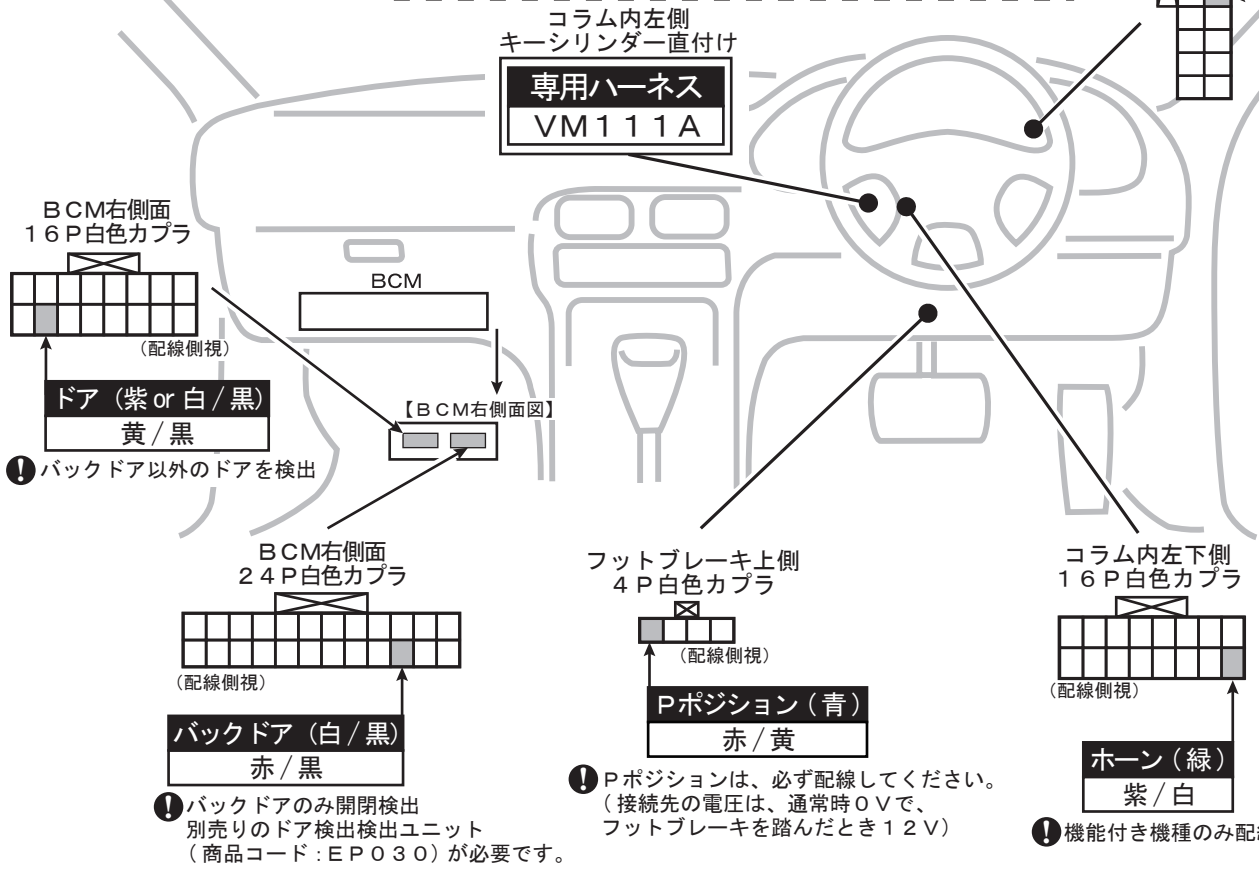


**❗ Pポジション配線して、フットブレーキで行う。**

**オートマチック車認識設定**

配線・リレーユニットの取り付け終了後、下記の手順で設定を行ってください。  
 ①車両のイグニッションをONにする。  
 ②リモコンでSTOPを押す。  
 ③車両のブレーキを踏み、受信機のアラーム音が変わった後(約3秒後)ブレーキを放す。  
 ④車両のイグニッションをOFFにする。  
 ⑤設定完了  
 ※設定作業をしないとエンジンスタートでエンジンがかかりません。

配線内容(受信機CN2線色)  
**車両配線色**



❗ バックドア以外のドアを検出

❗ バックドアのみ開閉検出  
 別売りのドア検出検出ユニット (商品コード:EP030) が必要です。

❗ Pポジションは、必ず配線してください。  
 (接続先の電圧は、通常時0Vで、フットブレーキを踏んだとき12V)

❗ 機能付き機種のみ配線

❗ この資料は、当社に於いて見取りを実施した車両をもとに作成してあります。年式、グレード等によって違いが生じる場合がありますのでご注意ください。

# 車種別取付資料

ES-89Light — 配線する信号はⓁ表示です。

BOX No. 142804

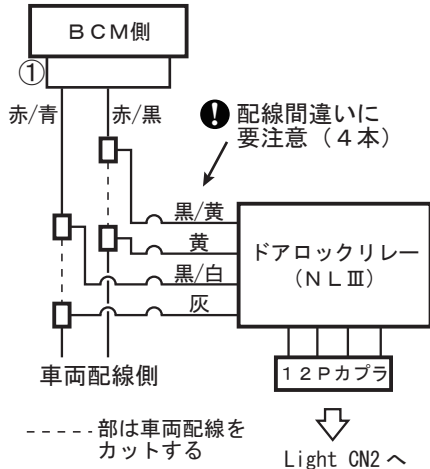
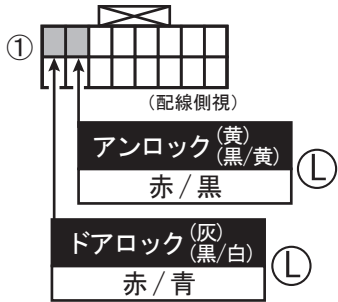
車両情報	マツダ プレマシー	平成25年1月～	CW系	3 / 3 ページ	ES-89 Light	Type	N.L.
	日産 ラフェスタ ハイウェイスター	平成25年3月～	CW系			Opt.	ドアロックリレーNLⅢ(EP070)

Ⓛ イモビライザー無し車のみ

## ドアロック・アンロック

Ⓛ ドアロックリレーNLⅢが必要です。

BCM右側面  
16P白色カプラ



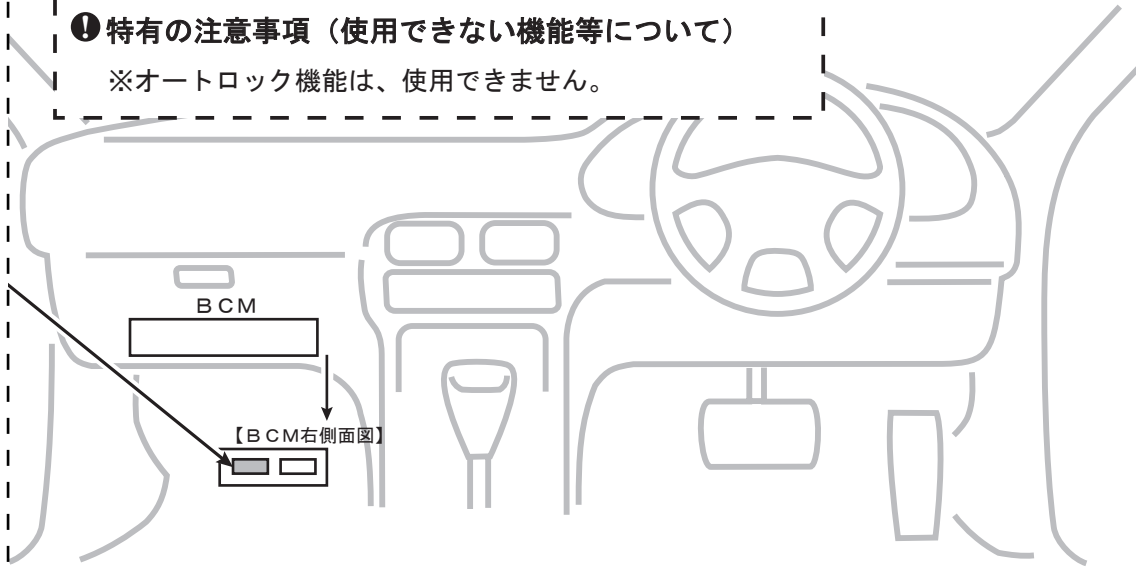
### Ⓛ 使用上の注意事項

- エンジンスターターによるドアロック/アンロックの操作で、リフトゲートのみ連動しません。(フロントドア2枚とリアドア2枚の、ドアロック/アンロックが作動します。)

理由：車両側ドアロックシステムの系統が、上記の連動しない部分のみ別系統になっているため。

### Ⓛ 特有の注意事項 (使用できない機能等について)

※オートロック機能は、使用できません。



配線内容(受信機CN2線色)

車両配線色